

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

### 事業名【新】観光DX推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内3959)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 14,295 千円 (前年度予算額： 0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	14,295	0	0	0	0	0	0	0	14,295
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県観光連盟は、令和2年度に地域連携DMOとして登録されて以降、DMOに求められる「観光地域マーケティング・マネジメント」に取り組み、令和4年度は、①観光マーケティング機能の強化、②ぎふ旅コインによる観光消費拡大、③滞在型コンテンツの整備・販売促進、④人材育成を4つの柱に、多様な観光関係者の合意形成に基づき事業を実施している。

①観光マーケティング機能の強化について、現状、収集できるデータが、観光予報プラットフォーム、WEBアクセスデータ、ぎふ旅コイン利用データに限られ、十分な分析やプロモーションができず、DMOの機能を十分に果たせているとはいえない。また、県内のDMOも、宿泊や位置情報のデータ収集が大きな課題となっており、全ての県内DMOから、宿泊と位置情報データ収集・分析を県観光連盟が実施し、得られたデータや分析結果を地域に還元する仕組みを作してほしいという強い要望があった。さらに、R4年9月に開催したDMO会議においても同様の意見があった。

### (2) 事業内容

宿泊データ及び位置情報データを新たに収集・分析することで、WEBデータやぎふ旅コイン等の分析結果を補完し、精度の高い観光動態分析を実施する。分析結果は、参画事業者(地域DMO・観光事業者等)へ還元し、新たなプロモーション手法の検討、プロモーションの効率化を図る。さらに、分析で得られたユーザーの行動ログ等からターゲットを絞った広告配信を行い、広告をみたユーザーのうち実際に来訪した人数を可視化することで、広告効果を検証する仕組みをつくる。

### (3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域にまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

補助率10/10

(4) 類似事業の有無

観光連盟補助金 (DMO強化事業費)

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	14,295	①宿泊データの収集・分析 ②位置情報データを活用した観光動態の分析 ③分析結果に基づくプロモーション
合計	14,295	

**決定額の考え方**

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

II ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画

○観光事業者のデジタル化支援及び事業間ネットワークの構築支援

(2) 国・他県の状況

・宿泊データ収集・分析システム：秋田県・富山が実施(県内では下呂温泉観光協会)

・位置情報データ分析(ブログウォッチャー)：愛知県、東京都、京都府、奈良県、広島県、高知県、長崎県、沖縄県が実施。(県内では下呂温泉観光協会)

(3) 後年度の財政負担

データ収集・分析は継続的に実施することが必要であるが、毎年度毎に、取り組みが効果的であるかを検証し、継続して実施するか否かを検討する。

## 県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

**(事業内容)**

補助事業名	観光DX推進事業費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県観光連盟 地域連携DMOとして登録（R2年1月）
補助事業の概要	<p>（目的） 観光連盟が、地域連携DMOとして実施する、宿泊施設や地域DMO等と連携した宿泊データや位置情報データ等の収集・分析及びデータに基づくプロモーション等を支援する。</p> <p>（内容）</p> <p>①宿泊施設及び地域DMOと連携した「宿泊データの収集・分析」                  ②地域DMO、市町等と連携した「位置情報データを活用した観光動態の分析」                  ③分析結果に基づくプロモーション</p>
補助率・補助単価等	<p>定率</p> <p>（内容） 10/10（事業費、事務費）                  （理由） 県の国内誘客事業と連携する事業</p>
補助効果	マーケティングネットワークの構築
終期の設定	<p>終期 令和5年度</p> <p>（理由） コロナ禍における単年度事業</p>

**(事業目標)**

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>地域連携DMOとして、宿泊データ、WEBアクセスデータ、ぎふ旅コインの利用データ、移動履歴データを収集・分析することで、効果的なマーケティングを実施する。また、県や市町村へ分析結果を共有することにより、それぞれが実施する事業の基礎データとしてもらい、オール岐阜県で効果的な誘客を図る。</p>
--

**(目標の達成度を示す指標と実績)**

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①観光消費額	/	1,721億円	2,400億円	2,900億円	3,300億円	52.2%
②観光入込客数 (実数)	/	3,842万人	4,000万人	4,800万人	4,900万人	78.4%

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	/	/	/

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 3 年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>地域連携DMOとして、さまざまなデータに基づき、観光客の動きを可視化し、データに基づきプロモーションを実施することが求められる。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  <small>3：期待以上の成果あり (単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり)                  2：期待どおりの成果あり (単年度目標100%達成)                  1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標50~100%)                  0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標50%未満)</small></p>	
(評価)	
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  宿泊データの収集については、精度を高めるため、より多くの宿泊施設に参加いただく必要がある。</p>
---

(次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  DMOとして、データ分析に基づくマーケティングは、継続的に実施する必要がある。常に実施結果を検証し、改善を行っていく。</p>
--